

令和7年度 第2回碧南市農業活性化センター事業推進会議 会議録

日時 令和8年3月6日（金）午後2時から午後3時

場所 あおいパーク 研修室

出席者 委員（27名中23名）、アドバイザー 愛知県西三河農林水産事務所 農政課
長 林 禎二、碧南市長 小池 友妃子

事務局 経済環境部長、農業水産課長、あおいパーク園長、同主事2名

傍聴者 0名

会議内容

1 あいさつ

2 議題

(1) 令和7年度 事業実績

資料に基づき、園長、活性化組合長、産直副所長、レストラン代表より説明。

ア 来園者状況について

イ イベント開催状況について

ウ 体験農園について

エ 産直市について

オ レストランについて

カ 市民農園について

キ 講座・教室等について

ク 取材・視察等の対応について

ケ 施設間連携事業（もぎとり券発行）について

コ 来園者アンケート調査結果

【質疑応答・意見要望】

特になし。(1) 令和7年度 事業実績は了承された。

(2) 令和8年度 事業計画

資料に基づき、園長、活性化組合長より説明。

ア 指定管理者業務実施計画について

イ 体験農園について

ウ 施設工事、修繕について

【質疑応答・意見要望】

委員 : 管理運営計画に体験農園との連携に関する記載がない。体験農園は市の委託事業であるが、あおいパークから一度離れると今まで築いてきた関係性がなくなり、あおいパーク自体が盛り上がっていない。

大規模改修について、順調にいけば令和7年度に基本設計、令和8年度に実施設計、令和9年度に改修、令和10年度にオープンという流れだったが、財政非常事態宣言が出てしまった。あおいパークも設立から30年近く経ち、雨漏りなど不具合や老朽化している部分も多く、市が基金や積み立てを5年間ほどやって6年後に事業化するような道筋を立てないといけない。ぜひ前向きに考えてほしい。

事務局 : 収穫体験や親子料理教室、春のフェスティバルなど、体験農園との連携について記載している。指定管理者から従来のように月に1度の運営委員会を開催するなど、一丸となって運営していくと聞いているので、ご理解いただきたい。

事務局 : 管理運営計画に記載することが大事であると思うので、それは指定管理者に伝えていく。基金については、財政非常事態宣言においてこれから行財政対策に取り組んでいく段階であり、あおいパークのための基金を積むことは断言できない。いただいたご意見を意識して取り組んでいきたい。

委員 : 計画がなければ実績を出すことはできないので、指定管理者は体験農園のことを含めて具体的に計画を立てていただきたい。

大規模改修計画をやらないと、いつかつぶれてしまう。今日もこの時間に来園するとガラガラ状態で、にんじんやたまねぎ、とうもろこしの時期はお客さんが多いが、それ以外の時期はそうでもない。そこを打破することを考えないといけない。あおいパークは碧南市の中でもメインの施設でもあり、その点を踏まえて前向きな検討をお願いしたい。

(3) 碧南市農業活性化センター事業推進会議について

資料に基づき、園長より説明。

【質疑応答・意見要望】

委員 : 当会議はこれで一区切りになるということだが、指定管理者に同様の会

議を運営して行ってほしい。生産者から意見を聞く場がなくなってしまう。

事務局 : いただいたご意見を指定管理者に伝えていく。先ほどと重複するが、月に1回は運営委員会を開催すると聞いており、そのような場を活用していくことも検討してほしい。

委員 : 運営委員会と推進会議は、そもそもの目的が違う。これを事務局が理解していない。推進会議は生産者の意見を聞く場としてある。目的や意義をしっかりと理解して、そういった場を設けることをこれからも市が音頭を取ってやっていく必要がある。

委員 : 産直の照明が暗くてたまらない。500万円から600万円程度で改修できると思う。補正予算か令和9年度の当初予算を付けて、市で実施してほしい。野菜がより美味しそうに見え、購入点数が1つ2つと増えるかもしれない。あおいパーク全体の売上の向上にもつながると思う。

事務局 : 市としては大規模改修の中で実施していく考えなので、個別に予算を取って行うのは難しいと考える。これまでは目的外使用許可という制約がある中でやってきたが、今後は指定管理者が自主事業という形でやっていくので、協力者であるJAが、指定管理者と一緒にやってほしいと考えている。

3 その他

閉会 午後3時